

公共建築工事における『営繕積算方式』の普及・促進

- 学校や庁舎等の公共建築工事を確実・円滑に実施するため、災害公営住宅の取組みと整合を取り、**実勢価格や現場実態を的確に反映した適正な予定価格を設定するための積算手法(『営繕積算方式』等)の普及・促進**

直轄工事(営繕工事)の積算手法を地方公共団体へ情報提供し、個別相談等に丁寧に対応

『営繕積算方式』(実施中)

- 適切な工期設定や市場価格との乖離が認められる工種の見積活用 ⇒ (※1)
- 現場実態に合った共通仮設費の積上 ⇒ (※1)
- 物価上昇等への的確な対応 ⇒ (※2)

積算の見える化(強化)

- 『見積活用方式』の適用の明確化
 - ・ 入札説明書等に明記
- 共通仮設の積上項目の明確化
 - ・ 設計図書等への条件明示、公開数量書に明記(設計変更可能)

共通費の調査(追加)

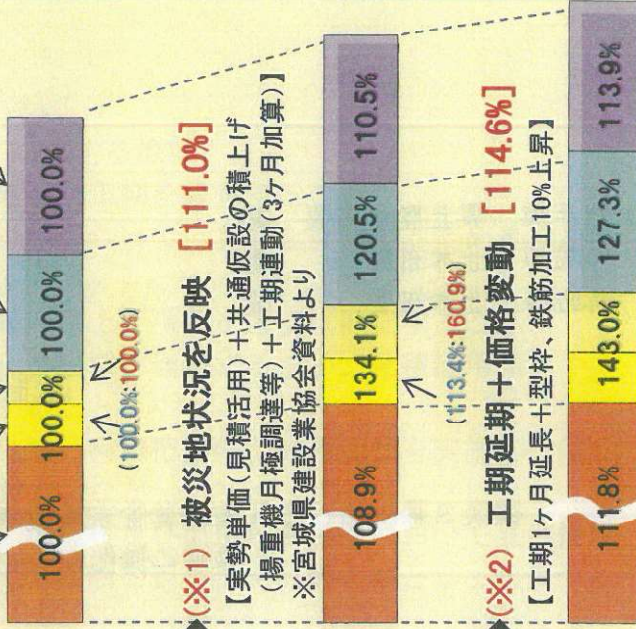
- 共通仮設費及び現場管理費の実態調査

地方公共団体等への普及・促進(強化)

- 『営繕積算方式』の活用及び『積算の見える化』に関する『マニュアル』を作成し、臨時説明会を実施
- 『公共建築相談窓口』等において、個別事案の相談に丁寧に対応
- 積算情報(単価等)の共有
- 設計や建設の各団体に説明会を実施

《 積算例 》

◆ 標準積算(H26.04) [100.0%]
 【市場単価、標準的な共通仮設積上げ
 (揚重機スポット、仮囲い、交通誘導警備員)】
 直接工事費 共通仮設費 現場管理費 一般管理費等
 (率:積上)



◆ (※1) 被災地状況を反映 [111.0%]
 【実勢単価(見積活用)+共通仮設の積上げ
 (揚重機月極調達等)+工期運動(3ヶ月加算)】
 ※宮城県建設業協会資料より

◆ (※2) 工期延期+価格変動 [114.6%]
 【工期1ヶ月延長+型枠、鉄筋加工10%上昇】